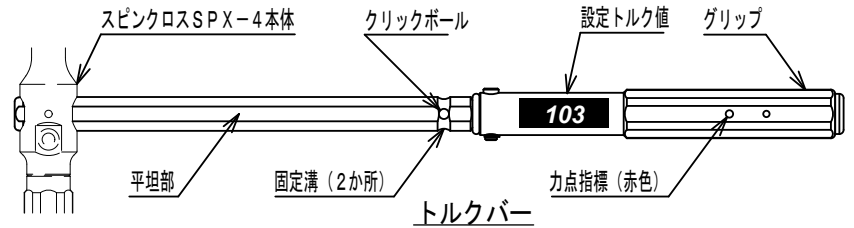


◆この製品の用途と各部の名称

この製品は、右図のようにFPCスピンドロスSPX-4本体に取り付け、乗用車のホイールナットを一定のトルクで締め付けることができます。

使用にあたっては、本説明書に加え、スピンドロスSPX-4の説明書を併用してください。

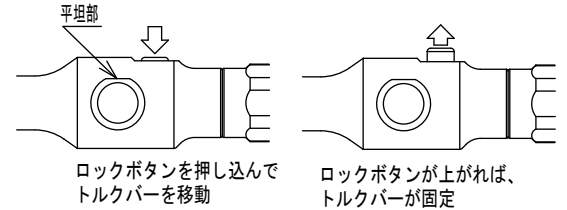


◆トルクバーを取り付ける／固定位置を変える

- 1) トルクバーの平坦部を本体のロックボタンの向きに合わせ、挿入します。
- 2) SPX-4本体のロックボタンを押し込み、さらに挿入してゆきます。
- 3) トルクバーの固定溝2か所のいずれかで、ロックボタンが上がると、固定できます。
- 4) トルクバーの位置を変えたいときは、ロックボタンを押し、トルクバーを移動させます。



ロックボタンが上がらば、トルクバーが確実に固定されていることを確認してください。
トルクバーが確実に固定されていないと、力を加えたときにトルクバーが抜ける可能性があります。



◆ホイールナットを緩める

この製品は規定トルクでの締め付け専用ですので、ホイールナットの緩めにはご使用いただけません。
ホイールナットを緩めるには、固定式のクロスバー (SPX-B) やクロスリムレンチ、またはインパクトレンチなどをご使用ください。

◆ホイールナットを規定トルクで締め付ける

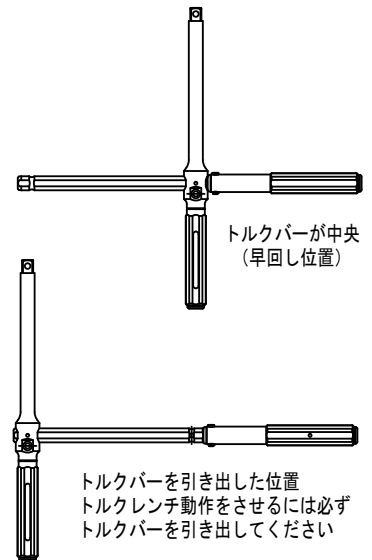
右ねじ専用

この製品はトルクレンチと同じ機構を持ち、一定のトルクで締め付けることができます。

- 1) トルクバーを中央に置いて、早回しで仮締めを行います。
- 2) 仮締めが終わったら、必要に応じ、できるだけトルクバーが水平になるように差し替えます。
- 3) トルクバーを引き出し、力点指標 (赤色) の中心に力を加えます。
- 4) 設定トルクに達すると「カチッ」と言う音・ショックと共に少し折れ曲がるので、すぐに力を抜きます。

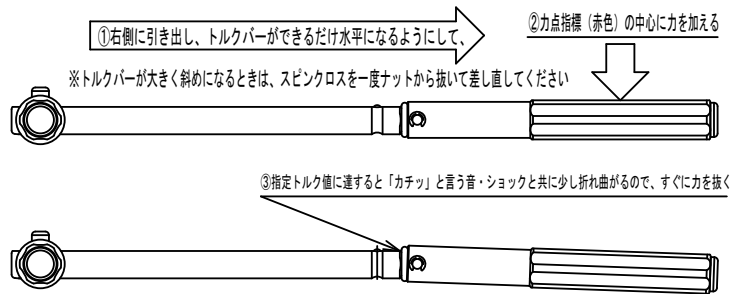


力点指標 (赤色) 以外に荷重を加えると、トルク値が変わり、正確なトルクが得られません。
「カチッ」と言う音・ショックを感じたらすぐに力を抜いてください。続いて力を加えるとオーバートルクとなります。
作業中に手力の異常を感じたり、動作不良や異常音を感じたら、使用を中止して点検を依頼してください。(有償)



スピンドロス・トルクバーの品番と設定トルク値

品番	設定トルク値
SPX-TB 85	85N・m±5%
SPX-TB103	103N・m±5%
SPX-TB108	108N・m±5%



◆使用上のご注意



- 1) 右ねじのホイールナット専用のトルクバーですので、他の用途には使用しないでください。
- 2) 設定トルクは国産乗用車のもので、外国車や特殊ホイールについては値を確認してご使用ください。
- 3) トルクバーの取り扱いにはトルクレンチや計測器に準じ、投げたり、叩いたり、足で踏んだりしないでください。
- 4) トルクレンチチェッカでの日常点検、トルクレンチテスターでの年次定期点検 (有償) を行ってください。
- 5) 長期間使用しなかった場合は、慣らし動作を行ってください。
- 6) 割れ・欠け・摩耗・変形等の異常が認められた場合、落下・水没等の状況が発生した場合は使用しないでください。
- 7) ソケットはナットのサイズに合ったものを使用し、奥まで完全に差し込んで使用してください。
- 8) ハンドルにパイプ等を継ぎ足して使用したり、足で乗って作業したりしないでください。
- 9) 無理な姿勢で作業しないでください。常に足元をしっかりとらせ、バランスを保つようにしてください。
- 10) 作業内容および作業環境に合わせて、安全帽・安全靴・保護メガネ・手袋等の適切な保護具を着用してください。
- 11) 改造しないでください。加熱・加工をした場合は、著しく品質・強度の低下を招きます。
- 12) ハンマー代わりに使ったり、またハンマーで叩いて衝撃を加えたりしないでください。
- 13) この説明書は製品と一緒に大切に保管し、必要に応じてお読みください。

◆トルク値の調整について

トルクバーのトルク値の調整には、調整工具とトルクレンチチェッカ等の測定器が必要です。
調整工具 SPX-TBT
トルクレンチチェッカ TC-350
については、別途弊社にお問い合わせください。

フラッシュ精機株式会社
電話 072-472-1081
info@flash-tool.co.jp